

日本学術振興会「結晶加工と評価技術」第145委員会
第100回委員総会議事録（案）

1. 日 時： 2014年7月23日（水） 17:15 ～ 17:30
2. 場 所：主婦会館 プラザエフ 8階 パンジー
3. 出席者： 委員長： 田島 道夫（JAXA／明大）
副委員長： 柿本 浩一（九州大学）、土田 秀一（(財)電力中央研究所）
委 員： 上田 修（金沢工業大学）、奥村 次徳（首都大学東京）、土肥 俊郎（九州大学）、
小椋 厚志（明治大学）、金田 寛（九州工業大学）、酒井 朗（大阪大学）、
末岡 浩治（岡山県立大学）、関口 隆史（(独)物質・材料研究機構）、
原田 博文（(独)物質・材料研究機構）、村上 進（(独)産業技術総合研究所）、
鹿島 一日児（グローバルウェーブ・ジャパン）、大谷 昇（関西学院大学）、
山本 秀和（千葉工大）、江原 幸治（竹野 博代理（信越半導体(株)）、
朝日 聡明（JX日鉱日石金属(株)）、廣岡 泰典（竹内 靖人代理（日立金属(株)））、
山内 和人（佐野 泰久代理（大阪大学））、中澤 治雄（富士電機(株)）、
中畑 成二（川瀬 智弘代理（住友電工(株)））、軍事 勲男（山田 一希代理（東京エレクトロン(株)））、
廣沢 一郎（梶原 堅太郎代理（財）高輝度光科学研究センター）、横山 夏樹（(株)日立製作所）、太子 敏則（信州大学）、山下 善文（岡山大学）、
石川 由加里（(財)ファインセラミックスセンター）、皿山 正二（(株)リコー）、小松 啓（東北大学）、小野 春彦（神奈川県産業技術センター）、
志村 考功（大阪大学）、高松 弘行（(株)神戸製鋼所）、豊田 紀章（兵庫県立大学）、中嶋 健次（(株)豊田中央研究所）、羽深 等（横浜国立大学）、千川 純一
（(公財)ひょうご科学技術協会）、西永 頌（東京大学）、原田 仁平（名古屋大学）、上浦 洋一（岡山大学）、松井 純爾（兵庫県立大学）、干川 圭吾（信州大学）、井上 直久（東京農工大学）、竹中 卓夫（竹中コンサルティング）、
梅野 正隆（大阪大学）、佐俣 秀一（(株)SUMCO）、矢野 孝幸（中林 正史（新日鐵住金(株)））、和田 一実（石川 靖彦代理（東京大学））
4. 資料100-1 第99回委員総会議事録（案）
資料100-2 第8期委員名簿
資料100-3 平成25年度収支報告書平成26年度予算報告書

1. 議 事 等

- (1) 前回議事録（資料100-1）を承認した。
- (2) 2014年度委員動静・幹事構成について、資料100-2に基づき報告された。
- (3) 資料100-3に基づき平成25年度収支計算書および平成26年度収支予算（案）が報告された。平成25年度の次年度繰越金は、技術の伝承プロジェクト関連費用の補填、2014年度開催予定のシリコンフォーラムおよび2016年度開催予定のシリコンシンポジウムの準備に使用される予定である。以上の予算の件が承認された。
- (4) 今年度は本日の第140回、12月開催予定の第141回を含め4-5回の定例研究会を開催し、昨年の10月22-25日には第7回結晶Si太陽電池国際ワークショップ(CSSC7)を開催した旨報告があった。CSSC7には国内45名、国外47名の参加者があり、非常に有意義な情報交換が行われた。
- (5) 技術の伝承プロジェクトについての進捗状況と今後の予定について報告があった。シリコン結晶の評価に関するシンポジウムを2015年1-2月頃に研究会の形態として開催する予定である。冊子刊行について、8月中の原稿締め切りを目標に2015年度中に発刊し、さらに記念シンポジウムを開催する件などを含めて議論が行われた。
- (6) 2014年シリコン材料の科学と技術フォーラム浜松についての準備状況が報告された。予算案が報告され、企業出展などが予定数に達してきており、予算面の準備も順調に行

われていることが報告された。また、プログラムに関しても、ほぼ全体が確定していることが報告された。

以 上